

授業科目	*基礎助産学 I				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI11101J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	杉浦 絹子							
授業概要	本科目では、助産に関連する概念と理論、助産師の歴史、法的な位置づけ、専門職としての責務を学び、助産師としての自覚を促す。さらに、倫理的課題に対する倫理的意思決定への支援方法について学ぶ。少子化社会の中で求められている助産師の役割とリプロダクティブ・ヘルスケアと医療チームや関連機関等との連携・調整の必要性について理解する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の基本概念と助産に関連する理論の概要について説明できる。 2. 日本における助産師の責務と役割、法的な位置づけについて説明できる。 3. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの基本となる考え方について説明できる。 4. わが国の母子保健の動向と課題を説明できる。 5. 助産実践の倫理的課題を説明できる。 6. 助産師教育や助産の方向性について考えることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	10	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	80						80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				10			10	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的行動目標に加えて、リプロダクティブ・ヘルスケアと医療チームや関連機関等との連携・調整について理解し説明できる。				行動目標1～6について理解し説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	<p>テーマ:助産・助産師の概念と定義、助産師の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産の起源と出産の変遷 ・助産の定義・意義・本質 ・助産の対象 ・助産の将来 ・助産師の定義－保健師助産師看護師法 ・助産師の業務と責務 ・関連法規、諸制度 ・助産師の活動と展望 	講義・ディスカッション	<p>予習:2冊の教科書の該当箇所、助産師業務要覧基礎編第1章、第4章を読んでおく。</p> <p>復習:図書館等を利用して学習を深める。</p>	60
2	<p>テーマ:助産師教育の変遷と現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婆の職業化と産婆教育 ・産婆の免許制度 ・産婆教育から助産師教育へ ・助産師の卒後教育 ・世界の助産師教育 	講義・ディスカッション	<p>予習:2冊の教科書の該当箇所、助産師業務要覧基礎編第1章、第4章を読んでおく。</p> <p>復習:図書館等を利用して学習を深める。</p>	60
3	<p>テーマ:リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの定義 ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する諸問題・課題 	講義・ディスカッション	<p>予習:2冊の教科書の該当箇所、助産師業務要覧実践編第5章を読んでおく。</p> <p>復習:国連、WHO、UNICEF、政府が発信するインターネット上の情報を利用して学習を深める。</p>	60
4	<p>テーマ:母子保健の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子を取り巻く現状 ・母子保健の変遷 ・母子保健施策と助産師の活動 ・母子保健の新たな課題 	講義・ディスカッション	<p>日本看護協会出版会の教科書の該当箇所、助産師業務要覧実践編第1章を読んでおく。</p>	60
5	<p>テーマ:助産学を支える理論と研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産実践を支える理論 ・対象を理解するための理論 ・助産師と研究 	講義・ディスカッション	<p>予習:2冊の教科書の該当箇所、助産師業務要覧基礎編第3章4を読んでおく。</p> <p>復習:図書館等を利用して学習を深める。</p>	60
6	<p>テーマ:助産師と倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師と生命倫理 ・原則の倫理、ケアの倫理、徳の倫理 ・助産師の倫理綱領 ・意思決定支援 	講義・ディスカッション	<p>予習:2冊の教科書の該当箇所、助産師業務要覧基礎編第3章を読んでおく。</p> <p>復習:図書館等を利用して学習を深める。</p>	60
7	<p>テーマ:助産の歴史と文化</p> <p>助産の歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代から江戸時代の助産 ・明治時代から昭和時代の助産 <p>助産の文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の助産習俗 ・諸外国の助産 ・助産の文化論 	講義・ディスカッション	<p>予習:2冊の教科書の該当箇所を読んでおく。</p> <p>復習:図書館等を利用して学習を深める。</p>	60
8	<p>テーマ:少子超高齢社会における助産ビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師の普遍的な役割 ・助産を取り巻く状況と課題 ・チーム医療と助産師の役割 ・助産師の量と質 	講義・ディスカッション	<p>予習:2冊の教科書の該当箇所の該当箇所、助産師業務要覧実践編第1章3を読んでおく。</p>	60
9				
10				

11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	助産学の基本理論領域で重要な科目です。広い分野に応用できる内容であるため積極的な姿勢で取り組んでください。			
テキスト	助産学講座 基礎助産学[1]助産学概論 我部山キヨ子他編 医学書院 助産師基礎教育テキスト 2023 年版第 1 巻助産概論・母子保健 工藤美子編 日本看護協会出版会 助産師業務要覧 3 版 基礎編 実践編 アドバンス編 福井トシ子編 日本看護協会出版会 母子保健の主なる統計 母子衛生研究会 わが国の母子保健 母子衛生研究会 厚生指標 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で紹介します。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	事例やドキュメンタリー映像を基に意見交換を行なう時間を適宜設けます。積極的な参加を期待します。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験及びレポート、発表など詳細については、授業の中で提示します。